



デバイスインベントリの更新

Cisco Prime Infrastructure には、ネットワーク内のデバイスを検出する方法として次の 2 つが用意されています。

- **クイック**: 指定する SNMP コミュニティ ストリング、シード IP アドレス、およびサブネット マスクに基づいて、ネットワークのデバイスをすばやく検出できます。[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ディスカバリ (Discovery)] を選択し、[クイック ディスカバリ (Quick Discovery)] をクリックします。[クイック ディスカバリの実行](#)を参照してください。
- **通常**: プロトコル、クレデンシャル、およびフィルタの設定を指定し、ディスカバリ ジョブのスケジュールを設定できます。追加したデバイスに作成済みのクレデンシャル プロファイルを適用できます。[ディスカバリ設定の変更およびクレデンシャル プロファイルの使用](#)を参照してください。

ディスカバリ設定の変更

ディスカバリ設定を変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] を選択し、[ディスカバリ設定 (Discovery Settings)] をクリックします。
- ステップ 2** [新規 (New)] をクリックします。[表 3-1](#) に示すように設定を入力します。
- ステップ 3** 次のいずれかをクリックします。
 - 設定を保存するには [保存 (Save)] をクリックします。
 - 設定を保存してただちにディスカバリ ジョブを開始するには [今すぐ実行 (Run Now)] をクリックします。

関連項目

- [クイック ディスカバリの実行](#)
- [ディスカバリの実行](#)
- [ディスカバリ ジョブのスケジューリング](#)
- [ディスカバリ プロセスのモニタリング](#)
- [デバイス インベントリの手動更新](#)
- [クレデンシャル プロファイルの使用](#)

ディスカバリ ジョブのスケジューリング

ディスカバリ ジョブを作成し、今後の実行スケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] を選択し、[ディスカバリ設定 (Discovery Settings)] をクリックして、[新規 (New)] をクリックします。
 - ステップ 2 必要な設定を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 3 [ディスカバリ設定 (Discovery Settings)] で、作成したディスカバリ ジョブを選択して [スケジュール (Schedule)] をクリックします。
 - ステップ 4 スケジュール情報を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
-

関連項目

- [クイック ディスカバリの実行](#)
- [ディスカバリの実行](#)
- [ディスカバリ プロセスのモニタリング](#)
- [デバイス インベントリの手動更新](#)
- [クレデンシャル プロファイルの使用](#)

ディスカバリ プロセスのモニタリング

ディスカバリ プロセスをモニタするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ディスカバリ (Discovery)] の順に選択します。
 - ステップ 2 詳細を表示する実行中のディスカバリ ジョブを選択します。
-

ディスカバリ プロトコルと CSV ファイル形式

Prime Infrastructure は次のプロトコルを使用してデバイスを検出します。

- Ping スイープ
- Cisco Discovery Protocol (CDP)
- 着信サービス一覧 (Routing Table)
- アドレス解決プロトコル (ARP)
- Border Gateway Protocol (BGP)
- Open Shortest Path First (OSPF)

CSV ファイルをインポートしてプロトコルのデータを追加できます。表 28-1 に、各プロトコルの CSV ファイル形式を示します。



(注) CSV ファイルをインポートできるのは、サポートされているバージョンの Mozilla Firefox を使用している場合に限られます。

表 28-1 ディスカバリ プロトコルと CSV ファイル形式

プロトコル	CSV ファイル形式
Ping スイープ	カンマで区切った、任意の有効な IP アドレスとサブネット マスク。行を追加することにより、1 つのディスカバリにおいて複数のネットワークを指定できます。
Cisco Discovery Protocol (CDP)	カンマで区切った、任意の有効な IP アドレスとホップ カウント。
ルーティング テーブル	カンマで区切った、任意の有効な IP アドレスとホップ カウント。
アドレス解決プロトコル (ARP)	カンマで区切った、任意の有効な IP アドレスとホップ カウント。
Border Gateway Protocol (BGP)	BGP 対応の任意のデバイスのシード デバイス IP アドレス。
Open Shortest Path First (OSPF)	OSPF 対応の任意のデバイスのシード デバイス IP アドレス。

デバイス インベントリの手動更新

デバイス インベントリを更新するには、ディスカバリを実行することをお勧めします。ただし、必要に応じてデバイスを手動で追加できます。

デバイス インベントリを手動で更新するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] を選択し、[追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 2 必須パラメータを入力します。
- ステップ 3 [追加 (Add)] をクリックして、指定した設定でデバイスを追加します。



(注) デバイスでの SNMP リード/ライト クレデンシャル 検証の一部として、管理対象デバイスにログ メッセージが表示され、インベントリ タスクの実行中に Prime Infrastructure サーバの IP アドレスから設定変更が行われたことが示されます。

デバイス インベントリの手動編集

追加済みデバイスのパラメータを編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] を選択します。
- ステップ 2 編集するデバイスを選択し、[編集 (Edit)] をクリックします。

- ステップ 3 必須パラメータを入力します。
- ステップ 4 [更新(Update)] または [更新して同期(Update & Sync)] をクリックし、必要な設定を行ってデバイスを更新します。

関連項目

- [クイック ディスカバリの実行](#)
- [ディスカバリの実行](#)
- [ディスカバリ ジョブのスケジューリング](#)

デバイス インベントリのインポート

デバイスのインポート先となる別の管理システムがある場合、またはすべてのデバイスとその属性を含むスプレッドシートをインポートする場合は、デバイス情報を一括して **Prime Infrastructure** にインポートできます。

デバイス インベントリをインポートするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] の順に選択し、[一括インポート (Bulk Import)] をクリックします。
- ステップ 2 リンクをクリックして、インポートされるファイルに入れる必要のある情報のすべてのフィールドと説明が格納された、サンプル ファイルをダウンロードします。
- ステップ 3 [参照 (Browse)] をクリックして自身のファイルがある場所に移動し、[インポート (Import)] をクリックしてインポートが完了するまで待ちます。(インポートのステータスを確認するには、[管理 (Administration)] > [ジョブ ダッシュボード (Job Dashboard)] > [ジョブ (Jobs)] > [ユーザ ジョブ (User Jobs)] > [インポート (Import)] を選択します)。

クレデンシヤル プロファイルの使用

クレデンシヤル プロファイルはデバイス クレデンシヤルの集合です。クレデンシヤル プロファイルに格納されるクレデンシヤルには、SNMP、Telnet、SSH、HTTP/HTTPS クレデンシヤルなどがあります。クレデンシヤル プロファイルを使用すると、各デバイスにクレデンシヤルを手動で入力する代わりに、デバイスまたはデバイス グループに一連のクレデンシヤルを適用できます。

[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [クレデンシヤル プロファイル (Credential Profiles)] をクリックし、クレデンシヤル プロファイルを追加、編集、削除、またはコピーします。クレデンシヤル プロファイルは、デバイス ディスカバリ、手動によるデバイスの追加、またはデバイスの一括インポートの実行時に適用できます。

関連項目

- [ディスカバリ 設定の変更](#)
- [デバイス インベントリの手動更新](#)
- [デバイス インベントリのインポート](#)
- [クレデンシヤル プロファイルの追加](#)

- [クレデンシャル プロファイルの編集](#)
- [クレデンシャル プロファイルの削除](#)
- [クレデンシャル プロファイルのコピー](#)

クレデンシャル プロファイルの追加

クレデンシャル プロファイルを追加するには、次の手順を実行します。

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 1 | [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [クレデンシャル プロファイル (Credential Profiles)] に移動します。 |
| ステップ 2 | [追加 (Add)] をクリックします。 |
| ステップ 3 | [一般パラメータ (General Parameters)] でプロファイル名と説明を入力します。 |
| ステップ 4 | [SNMP]、[Telnet/SSH]、[HTTP/HTTPS] の各フィールドに有効なクレデンシャルとその他の値を入力します。

クレデンシャル プロファイルに SNMP リード クレデンシャルが 1 つも含まれていない場合は、デバイスにクレデンシャル プロファイルを適用できません。 |
| ステップ 5 | [変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。 |
-

関連項目

- [クレデンシャル プロファイルの使用](#)
- [クレデンシャル プロファイルの編集](#)
- [クレデンシャル プロファイルの削除](#)
- [クレデンシャル プロファイルのコピー](#)

クレデンシャル プロファイルの編集

クレデンシャル プロファイルを編集するには:

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 1 | [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [クレデンシャル プロファイル (Credential Profiles)] に移動します。 |
| ステップ 2 | プロファイルを選択し、[編集 (Edit)] をクリックします。 |
| ステップ 3 | [プロファイルの詳細 (Profile Details)] をクリックし、[SNMP]、[Telnet/SSH]、[HTTP/HTTPS] の各フィールドに有効なクレデンシャルとその他の値を入力します。 |
| ステップ 4 | (オプション)[デバイスリスト (Device List)] をクリックし、選択したプロファイルに関連付けられているデバイスを表示します。 |
| ステップ 5 | [保存 (Save)] をクリックしてすべての関連デバイスを更新するか、[保存して同期 (Save and Sync)] をクリックし、更新済みプロファイルを使用してデバイスを更新し、同期させます。 |
-



(注) デバイスの一括編集時:

- 別のクレデンシャル プロファイルが適用されているデバイスに関連付けられたクレデンシャル プロファイルは失われます。
- 手動で更新するパラメータ (Telnet や HTTP のパラメータなど) は、選択したすべてのデバイスに適用されます。

関連項目

- [クレデンシャル プロファイルの使用](#)
- [クレデンシャル プロファイルの追加](#)
- [クレデンシャル プロファイルの削除](#)
- [クレデンシャル プロファイルのコピー](#)
- [クレデンシャル プロファイルに関連付けられているデバイスの表示](#)

クレデンシャル プロファイルの削除

クレデンシャル プロファイルを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [クレデンシャル プロファイル (Credential Profiles)] に移動します。
- ステップ 2 削除するクレデンシャル プロファイルを選択します。
- ステップ 3 [削除 (Delete)] をクリックします。

デバイスとプロファイルの関連付けをすべて削除するまで、クレデンシャル プロファイルを削除できません。これらの関連付けは、[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] でデバイス編集ページを使用して削除できます。

関連項目

- [クレデンシャル プロファイルの使用](#)
- [クレデンシャル プロファイルの追加](#)
- [クレデンシャル プロファイルの編集](#)
- [クレデンシャル プロファイルのコピー](#)
- [クレデンシャル プロファイルに関連付けられているデバイスの表示](#)

クレデンシャルプロファイルのコピー

クレデンシャルプロファイルをコピーするには:

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 1 | [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [クレデンシャルプロファイル (Credential Profiles)] に移動します。 |
| ステップ 2 | クレデンシャルプロファイルを選択し、[コピー (Copy)] をクリックします。 |
| ステップ 3 | [一般パラメータ (General Parameters)] でプロファイル名と説明を入力します。 |
| ステップ 4 | [SNMP]、[Telnet/SSH]、[HTTP/HTTPS] の各フィールドに有効な値を入力します。 |
| ステップ 5 | [変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。 |
-

関連項目

- [クレデンシャルプロファイルの使用](#)
- [クレデンシャルプロファイルの追加](#)
- [クレデンシャルプロファイルの編集](#)
- [クレデンシャルプロファイルの削除](#)
- [クレデンシャルプロファイルに関連付けられているデバイスの表示](#)

クレデンシャルプロファイルに関連付けられているデバイスの表示

デバイスに関連付けられているクレデンシャルプロファイルを表示するには、次の手順を実行します。

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 1 | [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [クレデンシャルプロファイル (Credential Profiles)] を選択します。 |
| ステップ 2 | クレデンシャルプロファイルを選択し、[編集 (Edit)] をクリックします。 |
| ステップ 3 | [デバイスリスト (Device List)] をクリックし、選択したプロファイルに関連付けられているデバイスを表示します。 |
-

管理対象外デバイスのトラブルシューティング

以下のいずれかの条件が該当する場合は、[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] の [管理ステータス (Admin Status)] 列の表示に従って、デバイスを Prime Infrastructure の管理対象から除外できます。

- ライセンスで許可された管理対象デバイス数を超過している。ライセンスに関する詳細情報が必要な場合は、以下を参照してください。
 - 『[Cisco Prime Infrastructure 3.0 Quick Start Guide](#)』: 各種ライセンス、ライセンスの注文方法、ライセンスの権限付与に関する説明が記載されています。
 - 『[Cisco Prime Infrastructure 3.0 Administrator Guide](#)』: ライセンスの管理、ライセンス問題のトラブルシューティング、ライセンスの詳細の確認に関する情報が記載されています。
- デバイスがスイッチ パス トレース専用になっている。
- Prime Infrastructure に不適切なデバイス クレデンシャルが入力されているため、Prime Infrastructure がデバイスとやり取りできない。このような場合は、[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] の [到達可能性 (Reachability)] 列が赤い色で表示され、デバイスに到達不能であることが示されます。

[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] の [デバイスタイプ (Device Type)] 列で、デバイスに対して [不明 (Unknown)] が表示されている場合、Prime Infrastructure はそのデバイスをサポートしていません。デバイスタイプに対するサポートが Prime Infrastructure に追加されているかどうかを確認するには、[管理 (Administration)] > [ソフトウェア アップデート (Software Update)] を選択し、[更新の確認 (Check for Updates)] をクリックします。